



# 薫風

銚子市立明神小学校学校便り  
VOL.6令和6年6月19日

令和6年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」  
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!』

## 明神カップ

6月7日(金)に第1回の「明神カップ」が行われました。この取組は、基礎基本の定着と学習意欲の向上を目的として、全校で年間4回行っているものです。

明神カップが行われた日の放課後、とても嬉しいことがありました。それは、職員室に戻ってきた担任が、子供たちの頑張りを自分のことのように喜んでくれたことです。

- ・「〇〇さんが、毎日練習を頑張って、今日の明神カップで100点を取ったんです！すごいですよね。私もすごく嬉しい気持ちになりました！」
- ・「〇〇さんが、漢字を何度も何度も練習をして、最後の練習の時より20点も得点が上がったんです。」
- ・「明神カップに向けて、保護者の方と一緒に練習を頑張っていた〇〇さんが100点を取れました。お家の人にも感謝です。」



結果ではなく、子供の頑張りを促し、その努力を認め、子供と一緒に喜べる。

これからも、子供たち一人一人の目標とその努力の過程を大切にできる教師、学校でありたいと思っています。

第2回明神カップ漢字名人・都道府県名人9月20日(金)

第3回明神カップ計算名人12月6日(金)

第4回明神カップ漢字名人2月27日(木)

## 暗唱チャレンジ

今年度も年2回(6月・10月)「暗唱チャレンジ」を行う予定です。既に6月3日(月)から28日(金)までの1ヶ月間で「第1回暗唱チャレンジ」を実施しています。暗唱を行うと、ただ記憶力がつくということだけでなく、子供の記憶の質が変わってくるといわれています。何度も読み、聞き、唱えることを繰り返すことで、頭の動きが活性化していきます。また、詩などの情景を思い浮かべ、感情を込めながら暗唱することで、子供たちの感性や語彙力の高まりが期待できます。

現在、担任から合格をもらった子供たちが、休み時間ごとに校長室に来て、「暗唱名人」を目指して頑張っています。普段見慣れない校長室という場所で、子供たちが緊張しながらも懸命にチャレンジしている姿は感動的です。自分の学年の課題をクリアして上級学年の課題に挑戦している子、大きな声で、心を込めて暗唱をしている子、どの子供たちも自分の目標を達成したときの笑顔は、満足感にあふれた素敵な表情をしています。難しい課題をクリアした後、息を弾ませて安堵の表情をする子もいます。それだけ、真剣に、夢中になって取り組んでいる子供たちがいることを嬉しく思います。



ご家庭でも、ぜひ「暗唱チャレンジ」を話題にいただき、励ましのお声をかけていただければ幸いです。